

香川県地域医療再生計画の概要



医師等確保対策

- 医学部定員増に伴う修学資金の貸付
- 寄附講座等による医師確保
- 医師のキャリア形成支援
- 地域医療支援センターの取組み強化 等



その他

- 小豆医療圏の公立病院再編整備

< 医師不足の現状と課題 >

勤務医の不足

若手医師の流出
・医師の高齢化

地域間の偏在

診療科の偏在

< 対策 >

医師不足に対応した、総合的かつ体系的な医師確保施策の展開が必要
地域医療支援センターにおいてキャリアステージに応じた切れ目のない医師確保施策の実施

香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センターとの連携・協力
県内外勤務医・医学生等を対象とした登録型データベースの運用・情報発信

医師を目指す高校生等

医学生

初期臨床研修医

後期研修医

指導医

初期臨床研修医の確保

県内医学生の増加
県内定着

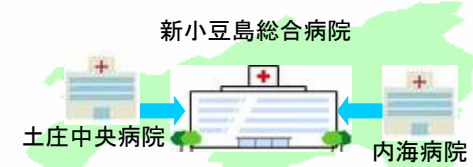
医学部進学者の増加

医師不足解消

若手医師の確保定着
県外医師の就業支援

指導医の養成確保
モチベーション向上

- 県内就業医師数の確保(修学資金を貸与した医師の配置調整H25:2名→H29:15名→H35:80名見込、各医療機関の医師確保)
- 県内定着・キャリア形成
- 地域偏在・診療科偏在の解消



- 身体合併症拠点病院など精神科救急医療体制の維持・拡充
- 二次救急医療体制の強化

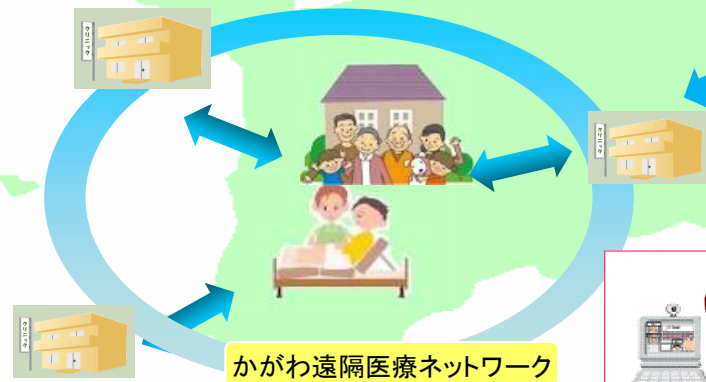
・診療時間外における軽症患者の二次救急病院
への来院を抑制



救急電話相談

在宅医療推進対策

- 在宅医療連携体制の構築
- 情報通信技術を活用した連携の推進



かがわ遠隔医療ネットワーク

災害対策

- 災害拠点病院等における施設・設備の整備強化
 - ・災害に備えた自家発電装置等の整備
 - ・広域搬送用ヘリポートの整備
- 医療救護機能の強化
 - ・被災地での中長期的な医療救護体制の強化

ヘリポート

医療情報ネットワーク

自家発電装置

香川県における課題解決の方策

①医師等確保対策(総額 4.7億円)

医師確保対策(総額 4.6億円)

課題: 医師の地域や診療科の偏在、公的病院等の勤務医不足、専門分野の医師不足、若手医師の県外流出 など H22必要医師数313人(全国24,033人)、H22人口10万人あたり医師数(医療圏) 小豆147.1人、大川150.1人、三豊193.6人、中讃231.5人、高松312.9人(全国219人、香川県253.7人)、内科、外科、産婦人科等で減少、45歳未満の医師の割合39%(全国44.1%)

目標: 平成35年度には80名程度の県内従事医師を確保、地域医療・専門分野の医師を養成・確保、専門医及び総合医の取得を目指す医師65名以上の参加者を確保、県内医療機関等への適正な医師配置等、初期臨床研修医を65名以上確保

対策: 医学部定員増に伴う修学資金の貸付、県内大学に設置した寄附講座等による医師確保、医師のキャリア形成支援、地域医療支援センターの取組み強化等による医師確保

看護師等確保・養成(総額0.1億円)

課題: 看護職員の地域偏在 など H22人口10万人あたり看護師数(医療圏) 大川570.3人、小豆575.5人、三豊739.3人、中讃1,021.9人、高松1,019.5人(全国744人、香川県930.3人)

目標: 看護職員の養成・県内定着、助産師を35名以上養成・確保

対策: 在宅医療推進を目指した看護師の資質向上、島嶼部に看護職員を派遣した医療機関への支援、助産師の育成支援 等

②在宅医療推進対策(総額1.2億円)

課題: 地域の実情に応じた連携体制が必要で、関係機関の機能情報の共有・連携が重要。多職種が協働する体制づくりが重要で、ネットワークづくりや医療従事者等の資質向上の取組みが求められる。

目標: 香川県版在宅医療拠点づくりに取り組む病院等1か所⇒3か所、情報通信技術を活用した連携の推進

対策: 香川県版在宅医療連携拠点づくり、医療情報ネットワークの構築・運用、医療介護地域連携クリティカルパスの整備

③災害対策(総額1.1億円)

課題: 災害発生時における災害拠点病院等の基盤機能の充実強化、災害発生時における関係機関との連携強化及び医療救護体制の整備強化

目標: 災害拠点病院等におけるライフラインの維持・確保等、関係機関との連携を強化し、災害発生後から中長期に至るまでの円滑な医療救護体制を構築

対策: 災害時における災害拠点病院等での自家発電機能等の確保や、医師会等との連携を強化し、災害医療に熟知した人材の育成のための研修や訓練等を実施

④その他の対策(総額 2.7億円)

救急医療体制の充実(総額0.4億円)

課題: 救急医療を担う人材・設備等の効率的・効果的運用

目標: 救急病院の負担軽減

対策: 救急電話相談事業の拡充・強化、病院前救護体制の強化

精神科救急医療体制の強化(総額0.2億円)

課題: 公立病院の精神科医師不足 など

目標: 精神科救急医療体制の強化

対策: 身体合併症拠点病院の指定・整備

小豆医療圏の公立病院再編整備(総額2.1億円)

課題: 病院施設の耐震化、建設資材の高騰 など

目標: 小豆医療圏の安定的な医療提供体制の構築

対策: 事業費の増加による不足財源への充当